

完了後の評価個表

整理番号 5-1

事業名 ふりがな 地名	森林居住環境整備事業 けんがたけ 剣ヶ岳地区	都道府県 事業実施主体	福井県 福井県									
関係市町村	あわら市、坂井市(旧金津町、丸岡町)	管理主体	あわら市、坂井市									
事業実施期間	H14～H19(6年間)	完了後経過年数	5年									
事業の概要・目的	<p>① 位置等 当地区は、福井県嶺北東部に位置し、東西約2.5km、南北約23kmにおよぶあわら市から坂井市までの剣ヶ岳および刈安山を代表とする山地に囲まれた山間地である。</p> <p>② 森林の状況 当地区的森林面積は1,858ha全てを民有林が占め、そのうちの約58%、1,085haがスギを中心とした人工林となっている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに1,085haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・除伐及び間伐等が必要な段階にある。 また、木材の生産という経済的側面のみならず、地区下流域の生活用水の確保、保健休養の場として地域住民の生活向上に大きな役割を果たしており、この多面的機能を持つ森林を今後更に総合的かつ高度発揮させるため、その機能に応じた適正な森林施設を実施していくことが急務かつ重要である。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道開設 剣ヶ岳線 車道幅員 4.00m 開設延長 6,926m 利用区域面積 1,858ha 総事業費 1,547,000千円(当初総事業費 1,620,000千円)</p>											
① 費用対効果分析の算定基礎となつた要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 費用対効果分析手法の見直しによる総便益の減少や、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <table> <tbody> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>2,645,413千円</td> <td>(事業採択時総便益 3,727,836千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>2,420,167千円</td> <td>(事業採択時総費用 1,458,488千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>1.09</td> <td>(事業採択時分析結果 2.55)</td> </tr> </tbody> </table>			総便益 (B)	2,645,413千円	(事業採択時総便益 3,727,836千円)	総費用 (C)	2,420,167千円	(事業採択時総費用 1,458,488千円)	分析結果 (B/C)	1.09	(事業採択時分析結果 2.55)
総便益 (B)	2,645,413千円	(事業採択時総便益 3,727,836千円)										
総費用 (C)	2,420,167千円	(事業採択時総費用 1,458,488千円)										
分析結果 (B/C)	1.09	(事業採択時分析結果 2.55)										
② 事業効果の発現状況	<p>林道が開設されたことで、森林施業地までの到達時間や市場までの時間短縮が図られることにより搬出コストが低減し、利用区域内における木材搬出量が1,400m³/年から2,100m³/年(1.5倍)に増加した。</p>											
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>事業により整備された林道は、あわら市、坂井市により適切に管理され、年数回の草刈、側溝清掃等適切に行われている。</p>											
④ 事業実施による環境の変化	<p>林道整備により、作業経費が低減され搬出間伐が進むなど、森林所有者の森林經營に対する意欲が向上したほか、森林施業地までの到達時間の短縮により林業従事者の労働環境の改善が図られた。 また、事業実施以降、支線林道の整備が順次進んでおり、今後もより一層の森林整備、間伐材利用が促進されると考えられる。</p>											
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道の整備により、林業労働の軽減、高性能林業機械の導入や運搬車両の大型化が可能となり、作業コストの低減化が図られ、林業生産性が向上しつつある。</p>											

⑥ 今後の課題等	<p>森林基幹道の整備が進んだことで林業生産性が向上しているが、全体計画としては完了していないため、人工林の間伐等の森林施業が十分とはいえない状況である。</p> <p>今後も引き続き森林基幹道の整備を促進するとともに、作業道の整備についても積極的に推進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見： 基幹道が整備されたことにより、森林所有者や県民の森林に対する関心が高まっている。林道を活用したイベント等を行う事により、所有者に更に森林整備の意欲を持ってもらえるようPRをしていく必要がある。(福井県) これまでに比べ木材生産や森林整備が促進されており、今後とも関係機関と連携して推進を強化していきたい。(あわら市・坂井市)
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網の整備により間伐や枝打ち等の森林整備の推進が見られることから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現地に応じた工種・工法で計画が作成されるとともに、事業実施にあたっても波形線形の採用による切・盛土量の抑制等コスト縮減に努め、総事業費の縮減を図っていることから、効率性が認められる。 ・有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上した結果、木材生産・森林整備が促進されていることから、今後も効果の発現が見込まれる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林居住環境整備事業

都道府県名: 福井県

けんがたけ

地域(地区)名: 銚ヶ岳地区

(単位: 千円)

大区分	中区分	評価額	備考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	306,645	
	木材生産確保・増進便益	889,120	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	41,683	
	森林管理等経費縮減便益	17,753	
	森林整備促進便益	1,121,381	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	49,959	
	ふれあい機会創出便益	218,872	
総便益 (B)		2,645,413	
総費用 (C)		2,420,167	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,645,413}{2,420,167} = 1.09$		

